

健康にもこだわりたい 「自然素材」でエコ



環境にいい暮らしと健康にいい暮らしってちょっと似ている。
家族みんなが健康で、エコを暮らしが実現できるといいと思いませんか？ そんなアイデアがいっぱい。

住まいのお役立ち情報



つくる時も捨てる時も、地球に優しい自然素材を住まいに

環境や健康を考えた住まいへの注目が集まるなか、木・紙・土などを使った自然素材の建材がますます人気。製造・廃棄するときの地球への負荷が少ないこれらの素材は、エコの観点からみてもオススメのポイントがいっぱい。住む人にも地球にも優しい「自然素材」の住まいを紹介！！



自然素材と「エコ」の関係って？

木材をはじめとする自然素材を使った住まいは、健康にこだわる人はもちろん、エコの観点からは、地球環境への負荷が気になる人からも注目されている。建材の製造・輸送時に大量のCO2を排出しないこと、廃棄するときに自然に還すことができることが、自然素材のよさ。最近では、木材の輸送にかかるエネルギーなどを数値化した「ウッドマイレージ」の少ない国産材・県産材を活用しようという動きもある。

住む人にとって快適で、住まいを長持ちさせ、地球への負荷軽減にもつながる「自然素材」の家。そこに暮らす間のことだけでなく、つくる・運ぶエネルギー、そしていつか役目を終えて廃材となる日のことも考えて家づくりを！



取り入れたい場所別に、適した自然素材をご紹介します

無垢のフローリング

天然木をそのまま製材する無垢のフローリングは、肌ざわりのよさや自然の風合いが魅力。傷が付きやすい面もあるが、年月を経ることによって風合いを増していく良さも。スギやパイン材などが人気。

構造材

土台・柱・梁などといった構造材にも無垢材を使うと、木の調湿効果により住まいの健康が保たれる。また、ヒノキやヒバにはシロアリやダニを防ぐ効果もあるといわれている。

断熱材

住宅が、外の暑さ・寒さの影響を受けないよう、屋根・壁・床に入れる断熱材。天然素材やリサイクル素材を使った自然素材系の断熱材には、セルローズファイバー、炭化コルクなどがある。吸放湿性が高く、結露しにくいのが特徴。

壁・天井

自然素材の壁・天井材は、珪藻土や漆喰などの塗り壁、ケナフや月桃紙などを使った壁紙が代表的。これら自然素材の壁・天井材には、調湿効果、消臭効果などがあるため、特にリビングや玄関、トイレなどにもおすすめ。珪藻土(写真)を使ったクロスなども登場。



地球にもおサイフにもやさしく 「設備」でエコ



「エコな暮らし」って、実践してみたいけど、日々の生活においては「エコノミー」でもありたい。そんな人に、エコ関連の設備を導入して、経済的にも◎な住まい方を教えます。



設備を上手に選べばCO2排出も光熱費も減らせてWエコ！

冷蔵庫、テレビ……家庭ではいろいろなエネルギーを使っているけれど、その中でも大半を占めているのが給湯と冷暖房で、全体の6割近いのだとか。つまり、給湯と冷暖房を中心とした設備機器の見直しこそが省エネのポイント。無駄なエネルギー消費を抑えることで、CO2排出量も光熱費も減らせる、地球にもおサイフにもやさしい設備を選ぼう！

※商品情報は2010年5月時点のものです



今、注目されるエコ設備

右の表は、エコ関連の設備について「導入したい」順にランキングしたもの。太陽の光を電気に変える「太陽光発電システム」が最も注目されている。本格的な省エネ設備への関心が高まってきたことに加え、商品が買いやすい価格になってきたこと、国や自治体による補助金制度、余った電力の買取価格の引き上げなどにより、導入のしやすさがアップしていることも背景にあるといえそう。

発電や給湯のしかた、消費エネルギーの大きさなどは、機器によって大きく違う。つまり、住まいを新築・リフォームする際、どんな設備を選ぶかによって、その住まいでできる、今後何十年かの省エネ貢献度が決まってしまうということ。

長い目で見て、自分たちが導入できるベストなエコ設備を選ぼう！

Q ご自身が注文住宅を建てる際、購入したいエコ関連の設備は何ですか？(複数回答)

👑 1位 太陽光発電システム / 太陽光パネル

👑 2位 断熱サッシ(複層ガラス)

👑 3位 オール電化

4位 LED照明

5位 エコキュート(自然冷媒ヒートポンプ給湯機)

6位 節水トイレ

7位 高气密/高断熱

出典: 関東・関西に住む、注文住宅を検討している30・40代の男女にインターネット調査を実施(2010年1月)。有効回答200名。



「住宅のエコ化」って実際どのくらい進んでいるの？

住宅エコポイントがスタートしたこともあり、「エコ住宅」が盛り上がっている。少し前までは「エコ=高い」というイメージがあったが、最近は環境だけでなくコストダウンで財布にもやさしくなっているらしい。



エコポイントで盛り上がる「エコ住宅市場」



エコポイントで住宅のエコ化が進む!?

地球環境問題がクローズアップされるなか、温暖化の原因とされるCO2排出量の削減が課題となっている。だが、実際には削減はなかなか進んでおらず、なかでも家庭からの排出量はむしろ増加気味だ。2008年度は不況の影響で前年度より排出量が減ったが、京都議定書の基準年である1990年度と比べると34.2%も増えている。住宅のエコ化は「待ったなし」の宿題といえる状況なのだ。

そこで景気対策と合わせ、住宅のエコ化を進める政策として国が導入したのが、2010年3月から受付を開始した住宅エコポイントだ。一定の省エネ基準を満たす住宅を新築したり、リフォームした場合に、1戸当たり最高30万ポイントが交付される。ポイントは1ポイント=1円に換算して住宅の追加工事や商品券、地域産品などと交換できる仕組みだ。制度がスタートして以来、ポイントを申請する戸数が順調に伸びている。対象となる住宅は2010年末までに着工していることが条件だが、期限の延長が打ち出された。



住まいのつくり方を工夫してエコ

太陽のチカラを設計に活かすには、例えば軒や庇を深く出し、南側の庭に落葉樹を植えるという昔ながらのアイデアも。太陽が高い夏には深い軒と生い茂った葉が強い日差しを遮り、心地よい風を取り込んでくれる。そして太陽の高度が下がる冬には、落葉して、暖かい日差しをたっぷりと家の中に取り込んでくれる。また、高窓や天窓を設けることにより、上昇した温かい空気が排出され、夏も快適に過ごすことができる。

季節によって変化する太陽や風に合わせて住まいを設計することにより、「建てるだけで」冷暖房効率をアップさせ、無駄なエネルギーを省くことができる。

春夏秋冬のある日本の気候風土を考え、四季折々の変化に柔軟に対応しながら、年中快適でエコな暮らしを手に入れよう！